



みんなのつなぐなわーマンナリイライ！

秩父市では、世界基準の安心・安全なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの国際認証を取得しました。昨年11月の認証後初めてとなるセーフコミュニティ推進協議会を開催しました。

5月31日、第7回秩父市セーフコミュニティ推進協議会（会長＝市長）を開催しました。同推進協議会は、町会、警察、消防、医療、福祉、経済、教育、そして行政機関など、市内で事故やケガの予防活動に携わっている37団体の代表者で組織されています。

推進協議会は、冒頭、「セーフコミュニティは広く市民に向けて、活動を広げていく段階、各所属団体での普及にご協力いただきました。秩父市が日本一の安心・安全なまちになることを目指したい」という会長のあいさつで始まりました。

続いて、副会長の選出、平成28年度の取り組み、スケジュールなどについて議題が上がり、承認されました。

最後には、秩父労働基準監督署長から、職場での転倒災害についての注意喚起がありました。

セーフコミュニティの活動は、行政だけでは成り立ちません。関係する団体の方々はもちろんですが、多くの市民の皆さま



んにもご参加いただき、一緒に取り組んでいくことで、市内で発生する事故やケガを一件でも多く予防していくことを目指しています。

今年度も、引き続きセーフコミュニティ活動を推進するとともに、認証取得1周年記念イベントや、講演会などの開催を通じて、多くの市民の皆さんに活動へ参加していただき、活動の普及・セーフコミュニティ認知度の向上を図っていきたくと考えています。